

中国農業

~中国農業の体制~

鈴木悠生 澤田美森 洲崎祐次 下田絢子



研究目的



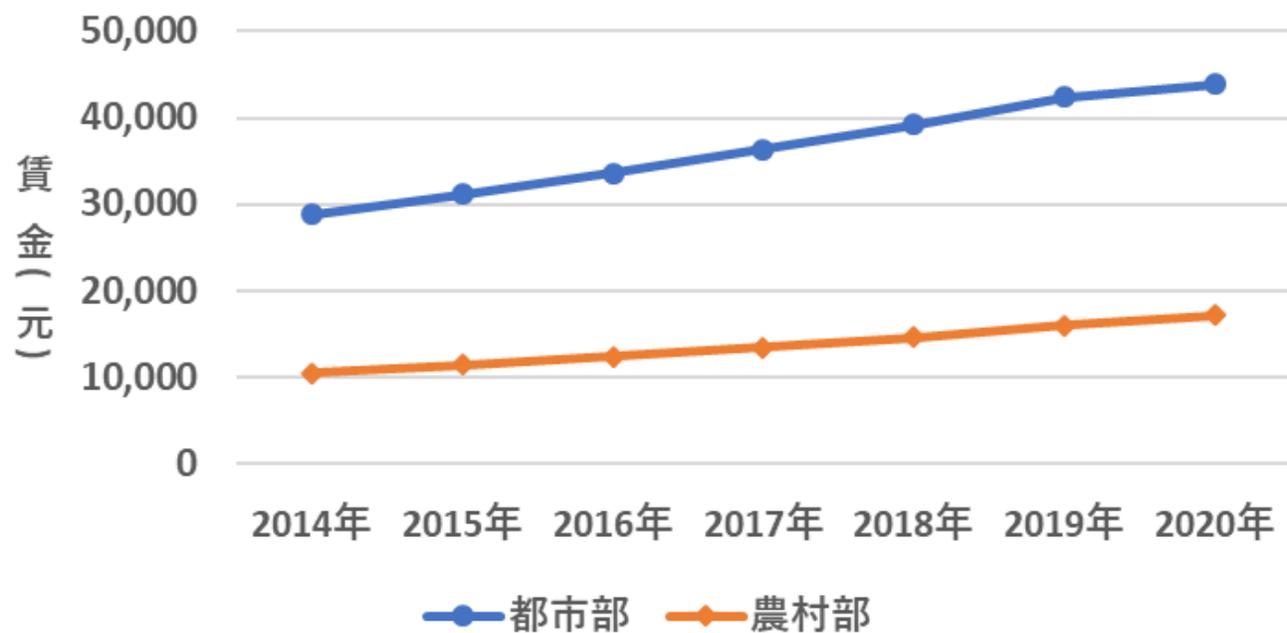
所得格差が拡大する中国で、農民の所得を向上させるために流通システムの改善が必要であると考え、本研究を行った。

主張

▶ 電子商取引の発展が諸規模農家の所得向上に貢献するのではないか

中国農業の現状

都市部と農村部の所得



中国農業の現状

三農問題

三農問題とは、農村、農民、農業に関連する問題であり、中国政府にとって重要な問題とされている。



課題点

- 生産性の**低下**
- 農村の**疲弊**
- 農家の所得**低迷**
- 都市住民との**所得格差**



所得が増えない原因として、**低い**需要の所得弾力性がある

簡潔に言うと、所得が増加したとき農産物需要は**上昇しにくい**。

そのため、農家の所得を上げるには、
農産物の多様化によって多くの需要にこたえる必要がある

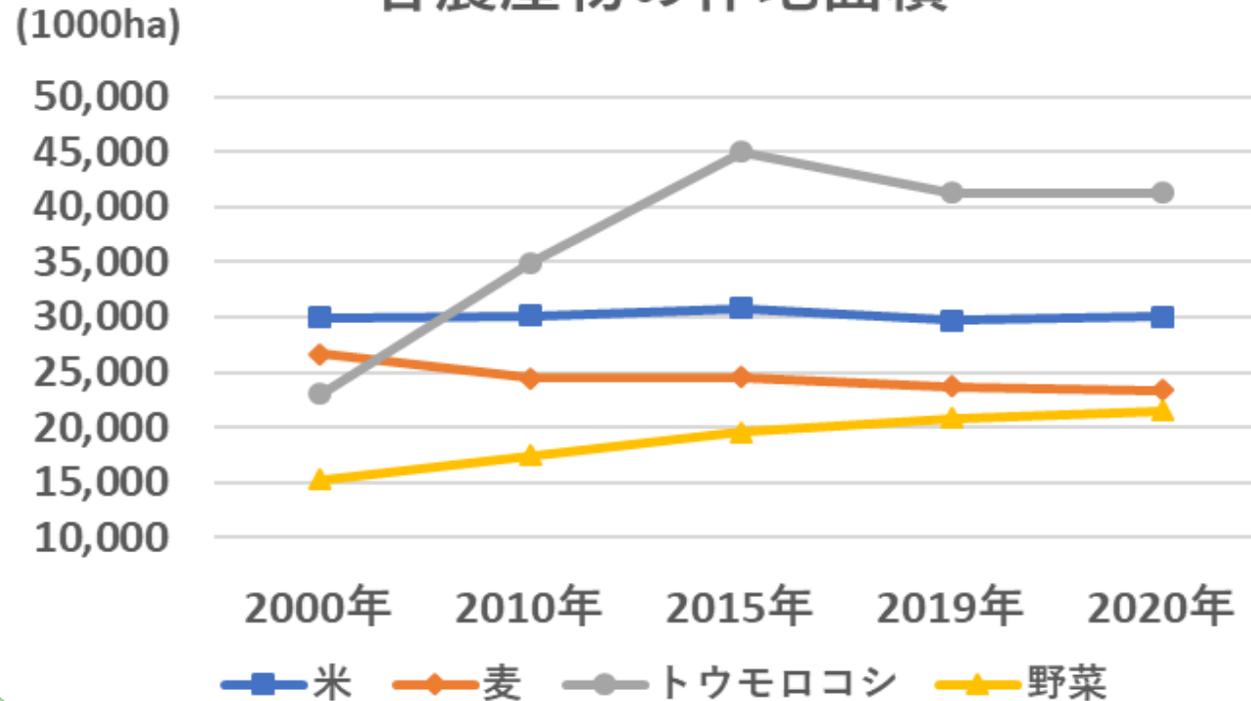
種類の多い野菜の流通方式に着目して研究を行った。

流通システムを見直すことが農家の所得向上につながる。



中国国内の作地面積

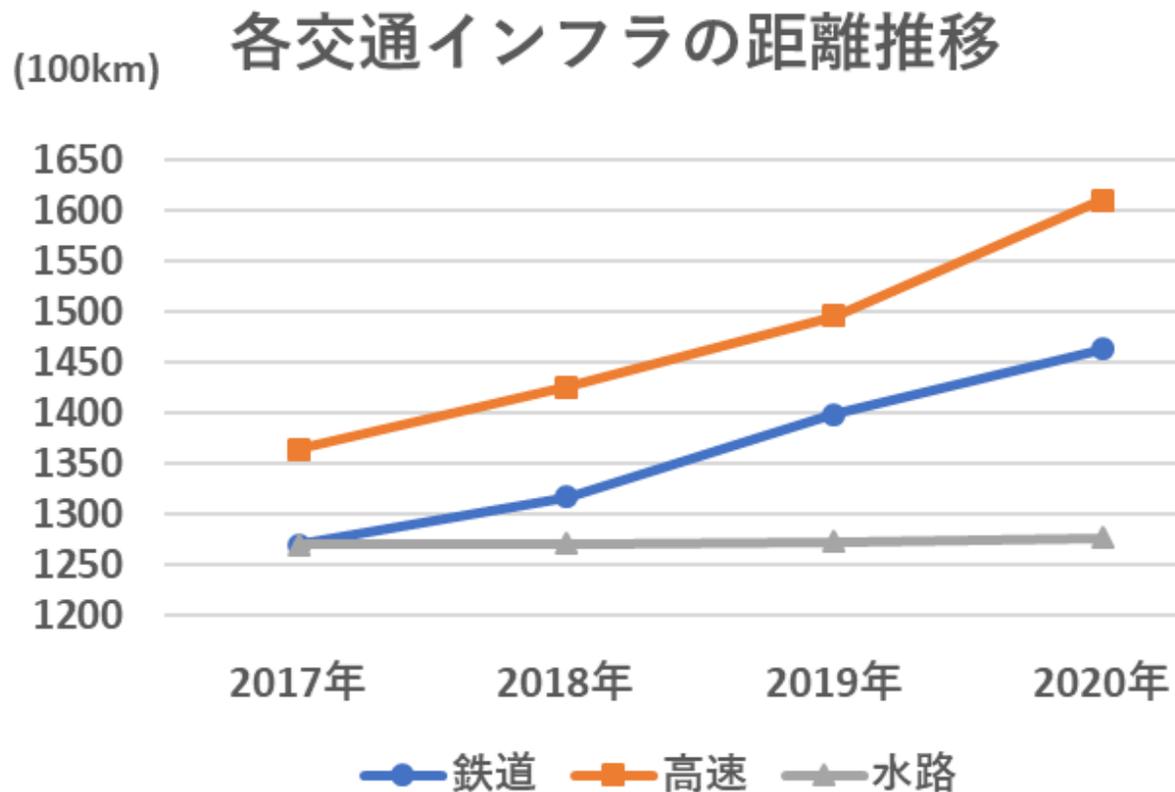
各農産物の作地面積



中国国内での野菜需要

2008年の**502,417**トン→2017年の**641,432**トンに**増加**

交通インフラ



高速道路と鉄道を中心に総距離が伸びており
交通インフラの発展が見受けられる。

舗装道路総距離

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
道路延長(km)	4,356,218	4,463,913	4,577,296	4,696,263	4,773,496

▶ 年間約**10万km**延長している。

また、ほかの国と比べ**多くの予算を道路開発に回している。**

※2021年、道路延長は**515.29万km**になるとされている、
そのうちの**84.3%**が**農村地域の道路延長**だとされている。

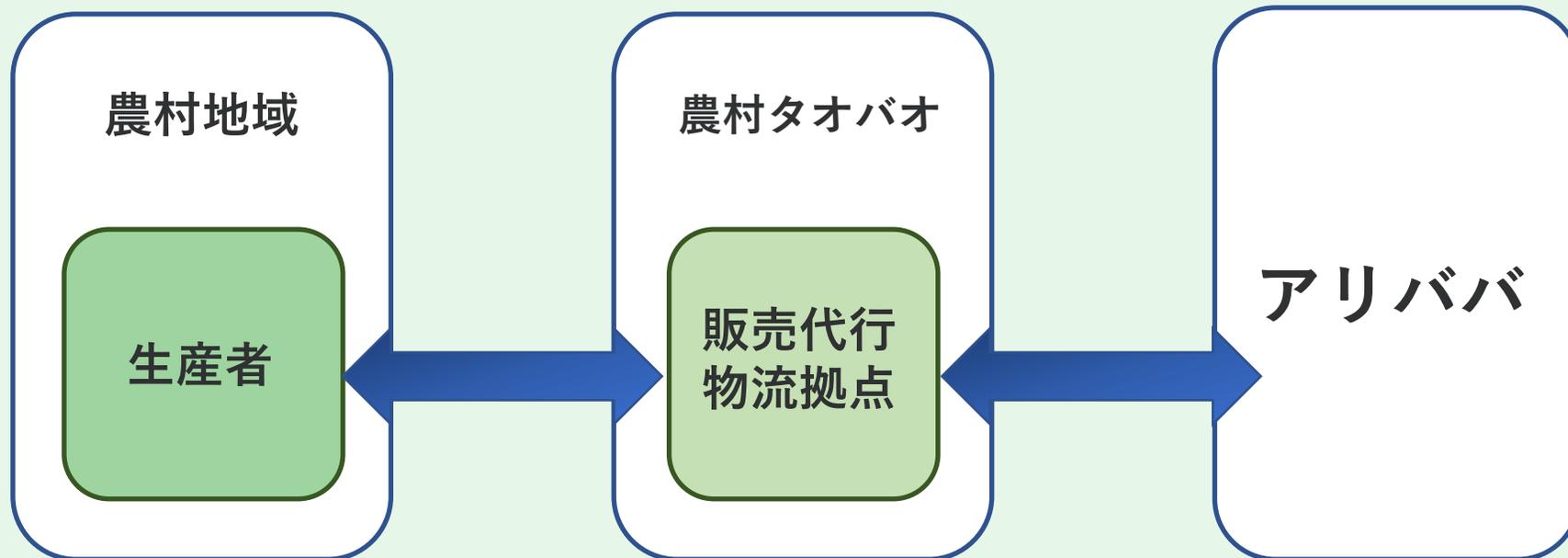
▶ 農村地域の交通インフラの発展

電子商取引の事例



◆ 農村タオバオ

国の農業振興政策に**アリババ**が協力する形で発足されたプロジェクトで、人口が**多い**ものの、ネット普及率が**低い**地域に、**売り手**と**買い手**両方の**サービスを行う店舗**を設け、農村地域の経済活動を活発にするものである。



農村タオバオ



特徴

フランチャイズ経営

農村部の若者を「店長」として採用、
アリババが提供するノウハウ、物流サービスを利用
※地元の人材を登用するため**失業者の最後の受け皿に**

リスクの軽減

サービス拠点を立ち上げる際、**大量**の在庫を抱える必要がない



中国野菜市場の流通方式





流通方式

01

卸市場主導型流通方式

02

スーパーマーケットによる農家との契約販売

03

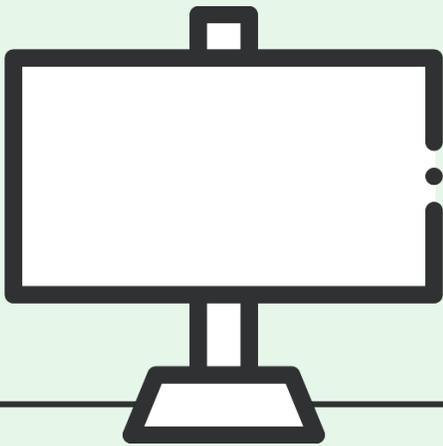
電子商取引

卸売市場主導型流通方式



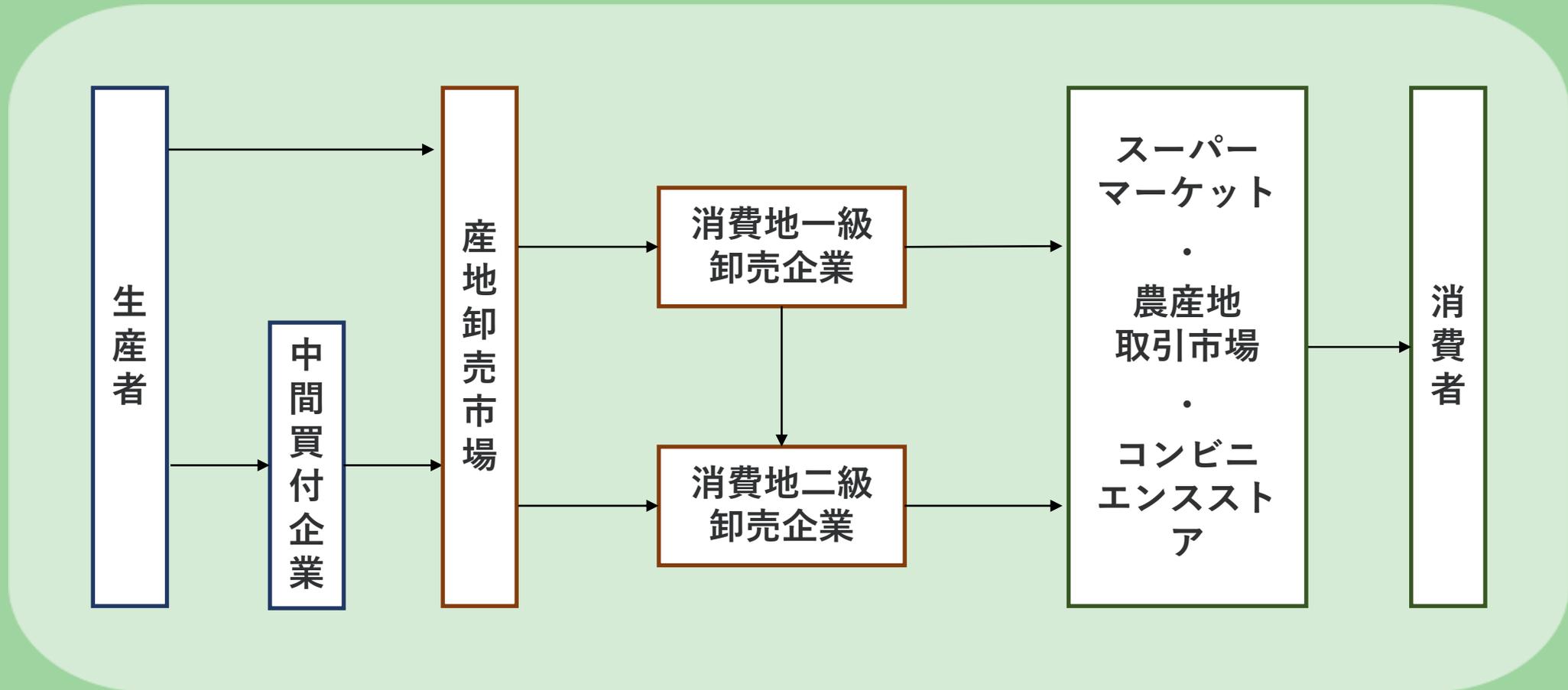
野菜流通において卸売市場が主導的役割を果たし、卸売市場を通じて野菜を集積・販売するもの。

中間買付業者と生産者との間の連携がある場合もあるが、両者一般的に市場の「動向、価格、野菜の品質」を基に取引相手を選んでいるため、**連携関係は強固ではない。**



双方の取引は**対面取引**が主体であり、単純な市場での売買関係である。

卸売市場主導型流通方式



※流通段階が 4 ～ 6 があるため、流通時間が長く費用が高くなる傾向がある。



卸売市場主導型流通方式の問題点

01

流通段階が多いため、費用や時間がかかってしまう。



流通段階での保存状況が悪い。

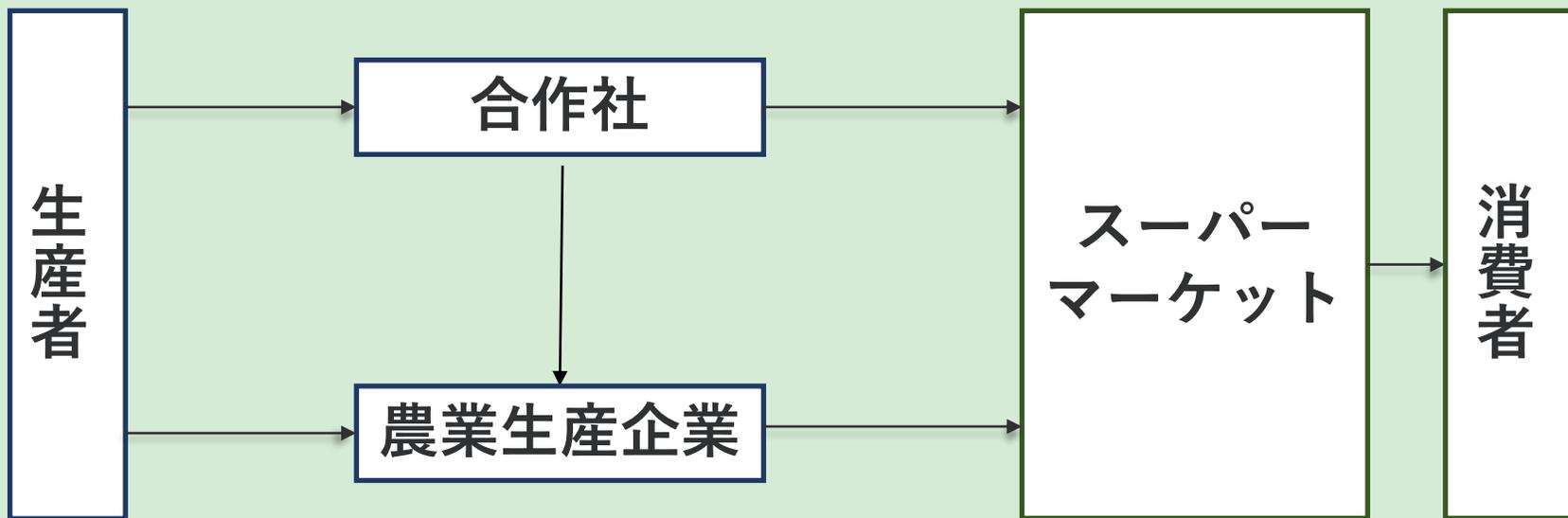
02

03

農民の立場が弱い。

⇒卸売市場主導型はこの三つの問題点が原因で小規模農家の所得は低い水準で推移している。

スーパーマーケットによる農家との契約販売



流通段階は基本的に2～3段階と短い



契約販売の取引主体



◆ 合作社



- ・政府の**主導**に組織
- ・小規模で分散した農家の**安定的な販路**を確保

◆ 農業生産企業



- ・自社の生産基地を所有する**大規模**な野菜生産者
- ・規模が大きいため市場の**情報**を理解している



スーパーマーケットによる農家との契約販売



特徴

生産者と野菜小売業者との間に
安定的な調達販売関係がある。

流通時間が短く、流通コストも少ない。



比較的に大規模な生産者が
有機野菜などの高品質の野菜を販売。

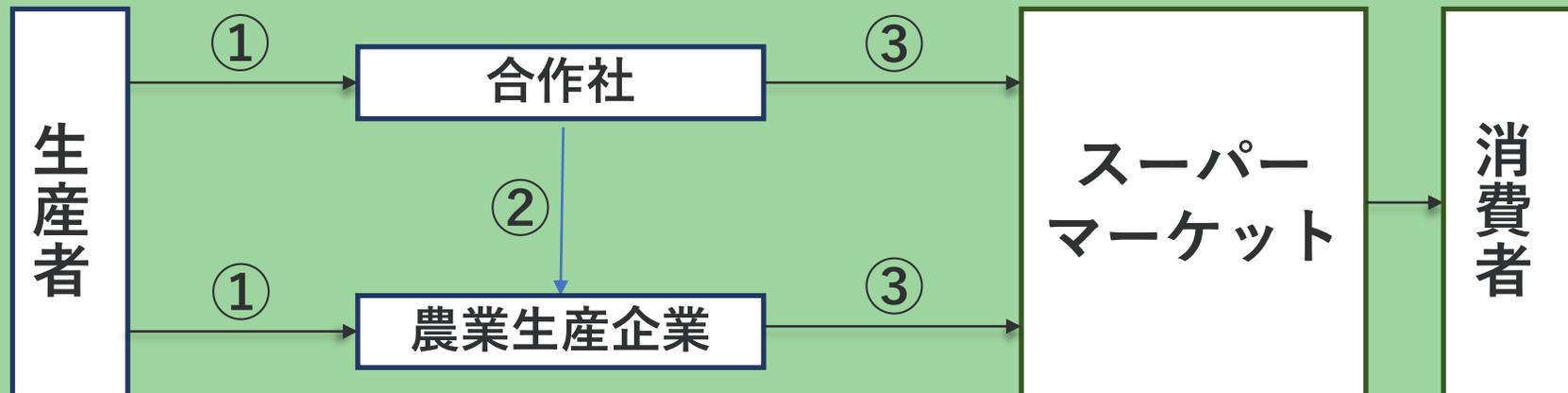


野菜専業合作社が生産者から野菜を収集。

取引関係



- ① 安定的な契約関係が存在している。
- ② 注文契約を交わし、**合作社**が**農業生産企業**に対し、契約内容に基づいて野菜を提供する。
- ③ 共同経営方式。



スーパーマーケットによる農家との契約販売



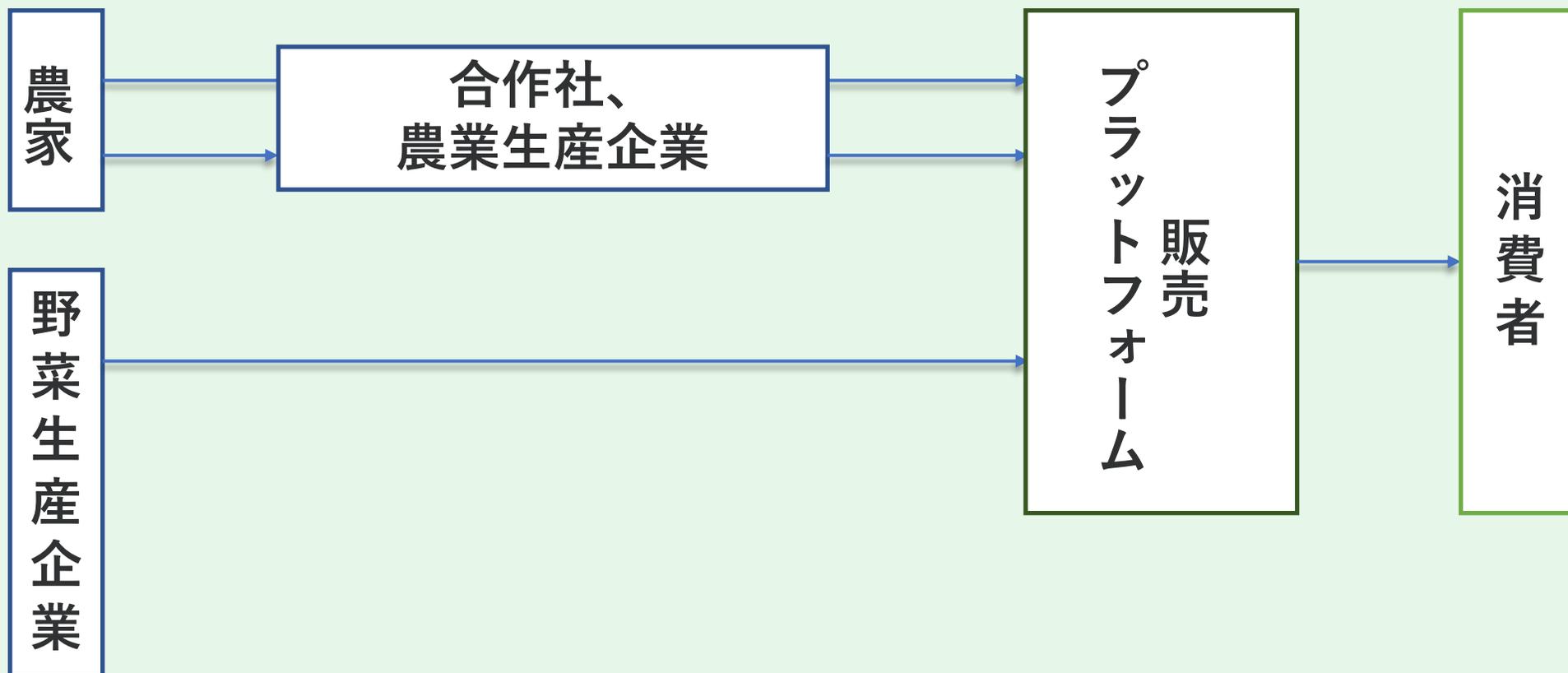
課題

- 比較的に**小規模な**農家が参入しづらい
 - ▶ マーケティング能力、価格交渉力に欠ける
- 小規模農家が参入した場合も、**立場が弱い**
- 全国規模で販売経路を展開する野菜専業合作社が**少ない**





電子商取引方式





電子商取引の特徴

・・・ メリット ・・・

- ✓卸売市場を通さないため、中間コストが**削減**できる
- ✓流通時間の削減による品質**低下**等の問題の**回避**
- ✓契約を結べない小規模農家でも**販路拡大**が期待できる
- ✓プラットフォームを通して消費者との距離が近くなる
- ✓農家が自ら価格設定することにより**収益性**が**向上**する

電子商取引における課題



01

物流コストの**高さ**



物流コストが価格の20%

02

コールドチェーンが**未発達**、交通インフラ



食品冷蔵流通率22%（先進国平均95%）
食品損傷率野菜20%

03

野菜の需要が**減少**すると**廃棄**になる



農家の所得減少に繋がる

04

農産物の**規格化・ブランド化**



技術及び知識の**不足**
ブランド化にかかる広告費





今後の展望



コールドチェーンの発達

十四五コールドチェーン物流発展計画

- ▶ 物流幹線基地、集配センターの建設
- ▶ 食品冷蔵輸送率22%から**30パーセント**を目標に

電子商取引の発展

ライブコマース 動画配信とネットショッピングの**融合**

- ▶ アリババの新アプリ「タオター」



まとめ(主張)

▶ 農民の賃金の観点からは、主流である**卸売市場主導型**には**問題**があり、**改善**が必要である。

▶ 卸売市場主導型が**主流**となる点は変わらないが、**電子商取引**といった他の形態が今後、大きく**シェア**を獲得していくと考えられる。

▶ 電子商取引による**小規模農家の所得増加**。

▶ 依然として、農業全体の問題として**コールドチェーン技術の発達**は**課題**に挙げられるが、**政府の施策**等から**改善**が期待されている。





先行研究



- 中国における野菜流通システムの現状とすう勢の分析 穆 月英
https://vegetable.alic.go.jp/yasaijoho/kaigaijoho/1706_kaigaijoho02.html
- 中国河南省農産物電子商取引に関する研究 王 芸璇
<https://core.ac.uk/download/pdf/229491498.pdf>
- 中国統計年鑑（2022）

